



森實 将太

愛媛県立松山東高等学校

(令和5年3月卒業)

入校・入隊した動機

私の母校の卒業生の中に秋山好古・真之兄弟という旧日本軍におけるとても有名な方がいる。彼らをモチーフにした「坂の上の雲」というドラマを見たときに日本の為に戦っている人がとてもカッコいいと感じ、私も彼らのように日本に貢献することのできる人間になりたいと考えたから。

入校して 感じたことは？

ネットなどで流れている防衛大学校のイメージを今の防衛大学校には持ち込まないでほしい。パワハラだと感じる罰などに関して無くしていく方向性があるからだ。確かに高校よりは厳しい毎日を送らなければならないが、わけのわからない理由で叱られるというのはまったく無く、しっかり理由があって叱られるのでネット上で形成されている悪いイメージというものはほとんどなくなっていると感じた。

母校の後輩達へ

一般大学では人格養成に重きを置いていないが、ここ防衛大学校では重きを置いていて人としても成長することができる。そして留学先も豊富なので大学生活をエンジョイしたいと考えておらず志が高い人には大変おすすめである。



浮田 夏暉

香川県立三木高等学校

(令和6年3月卒業)

入校・入隊した動機

立派な自衛官になるため。

入校して 感じたことは？

限られた時間をどれだけ効率的に使えるかが大切である。

母校の後輩達へ

みんなも防衛大学校に入校しよう。



明石 凜

香川県立高松高等学校

(令和6年3月卒業)

入校・入隊した動機

中学生から自衛隊に憧れていたから。また、防衛大学校は他の一般大学と違い、全寮制のため同期と深い仲間意識を養うことができると思ったから。厳しい生活を通して学ぶことがたくさんあると思ったから。

入校して感じたことは？

思ったより厳しい生活だった。苦しいときは同期や上対番に相談することで、改善されるから大丈夫だと思った。ただただ厳しいだけではなく、仲間を通して楽しさを感じることができるようになったのでうれしい。上級生の背中を追いかけ、いち早くこの生活に慣れ、校友会、勉学、学生舎生活の両立を図りたい。

母校の後輩達へ

厳しくて行きたくないと感じる人が多いと思うが、ほかの大学では絶対に体験できないことがたくさん待っている。また、友人もたくさんできて、かつ深く関わりあえる。マイナス面だけではなく、プラス面に目を向けて、防衛大学校の楽しさを見出して、ぜひ入校してほしい。

入校・入隊した動機

適確な指示を出せる指揮官となり、災害派遣で活躍したいと考えたから。

入校して感じたことは？

上級生から教えてもらったことを確実にこなすことが大事だと感じた。

母校の後輩達へ

生活は忙しく厳しいが、工夫して慣れていくことが大切である。



四宮 稜也

香川県立高松西高校

(令和6年3月卒業)



小川 侑馬

大手前高松高等学校

(令和4年3月卒業)

入校・入隊した動機

人を助けたり支えたりできる仕事に就きたいと考えており、幹部自衛官になることでより自分の意思を持って人を助けることができると考えて防大を志望しました。

入校して 感じたことは？

24時間、同期や上級生と同じ空間で生活することで、とても濃い時間を過ごすことができ、一般社会とはまた違った青春を送れると感じています。

母校の後輩達へ

普通の大学では経験できないような生活を送ることができたり、様々な行事などを通じて、学年の上下や国籍関係なく一生モノの広い交友関係が築けたりします。

